**避難所にいる子どもへの気配りをお願いします**

今回の災害で、子どもたちの中には親と離ればなれになっていたり、一日中、子どもだけで過ごしていることがあると思います。親と一緒にいて、会話しているか、親がいなくても誰かが世話をしているか、周りの人が気づかってください。
大人が落ち着いて、子どもに話しかけたり、話を聞いたりするだけで、子どもの心は安定します。 子どもに孤立した感覚をもたせないために、この時期に重要なのは、子どもたちが安心してできる手伝いなどの役割を与えたり、きちんとできる物事（達成感や自分の存在を確認できるもの）を与えてあげることです。